

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	24 市有財産の有効活用				重要度	B		
番号・取組事業名	24002	沼南庁舎の有効活用	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	057100	市民生活部 沼南支所総務課	責任者	西村 光彦	担当者	総務担当		
取組年度	H28	～	H29					
効果	歳入増加	その他改善						
最終目標	沼南庁舎の1階ロビー、売店の適正配置の検討及び自動販売機の増設による収入増を目指す。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	1階ロビー、売店適正配置を検討した。自動販売機の入札を実施した。						
平成29年度	完了 (事業終了)	自動販売機の設置については、平成29年度新規契約時に契約額が大幅に減少し、収入が想定よりも見込めないことから、増設は行わないこととした。売店の再配置については、庁舎の工事の関係から、見直しは保留とした。空きスペースについては、企画展示スペースとしての活用を開始した。						
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
成果指標	指標名	自動販売機の設置台数					単位	台
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		4	5				
	変更計画値	4						0
効果額	歳入増加	実績値	4	4				0
		当初計画額						0
		変更計画額						0
	歳出削減	実績額						0
		当初計画額						0
		変更計画額						0
計	実績額		0	0	0	0	0	
	当初計画額		0	0	0	0	0	
	変更計画額		0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)	実績額		自動販売機増設により市民ニーズへの対応	自動販売機増設により市民ニーズへの対応				
	当初計画額							

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	24 市有財産の有効活用				重要度	B
番号・取組事業名	24002	沼南庁舎の有効活用	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31
担当部署	057100	市民生活部 沼南支所総務課	責任者	西村 光彦	担当者	総務担当
	区分	取組内容・目標				
平成29年度	完了 (事業終了)	自動販売機の設置については、平成29年度新規契約時に契約額が大幅に減少し、収入が想定よりも見込めないことから、増設は行わないこととした。 売店の再配置については、庁舎の工事の関係から、見直しは保留とした。 空きスペースについては、企画展示スペースとしての活用を開始した。				
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	自動販売機の増設検討			○		
2	1階ロビー空きスペースの有効活用		○	○	○	○
3	売店の配置検討			○		○
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
	上半期	進捗状況	進んでいる	コメント	1階ロビー空きスペースについては、行政系企画展示スペースとして活用を開始した。他2項目については、引き続き検討を行う。	
進捗・実績						
		成果指標名	自動販売機の設置台数	計画値	単位	台
					5	実績値
						4
	年度末	達成状況【成果】	未達成	コメント	自動販売機の設置については、平成29年度新規契約時に契約額が大幅に減少し、増設による収入が想定よりも見込めないこと、また今年度より職員組合売店で取り扱う飲料の数、種類が増加したことにより、市民ニーズへの対応力が向上したこと、自動販売機の増設は行わないこととした。	
		進捗状況【活動】	完了 (事業終了)		売店の再配置については、予定していたスペース(地下1階)が、来年度実施される庁舎空調入れ替え工事の際に、資材置き場等で使用される見込みが出てきたため、現在の配置(1階ロビー)を維持する。 空きスペースの有効活用については、企画展示スペースとしての活用を開始した。 アクションプランとしての取組みは終了するが、今後も公共施設等総合管理計画の方針に沿って、庁舎の有効活用について模索していく。	
			計画変更(次年度以後)	取組内容	コメント	
			計画値			
評価	評価者	大塚 旭	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	公共施設等総合管理計画に基づき、沼南庁舎空きスペースの有効活用を行った実績を考慮し、総合評価を「B」とした。アクションプランとしての取り組みは終了するが、今後も本庁、別館等の執務スペース不足解消に向けた全庁的な協議の中で検討することが必要と考える。		
	方向性	完了 (目的未達成)				

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	35 補助金の見直し				重要度	A			
番号・取組事業名	35001	補助金の見直し	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	40100	財政部 財政課	責任者	鈴木 輝夫	担当者	財政担当			
取組年度	H28	～	H29						
効果	歳出削減								
最終目標	・一般会計における恒常的な補助金（法令等により支出が義務付けられているもの、国・県の負担金等により100%充当されるもの等を除く）の予算額について、全体額の5%を削減								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	・各所属で見直し計画を作成。「廃止」「見直しして継続」の補助金の一部は、平成29年度予算に先行して反映							
平成29年度	完了 (事業終了)	・計画に基づき、翌年度予算(平成30年度)に反映した							
平成30年度									
平成31年度									
平成32年度									
成果指標	指標名	恒常的な補助金の当初予算額(一般財源ベース)					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		-	1,483,915	1,416,415	1,416,415	1,416,415	1,416,415	
	変更計画値	1,491,415						0	
効果額	歳入増加	実績値	-	1,156,815				0	
		当初計画額						0	
		変更計画額						0	
	歳出削減	実績額		-	334,600			334,600	
		当初計画額		-	7,500	75,000	75,000	75,000	232,500
		変更計画額						0	
	計	実績額		0	334,600	0	0	0	334,600
		当初計画額		0	7,500	75,000	75,000	75,000	232,500
		変更計画額		0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)		平成28年度に作成する計画を平成29年度以降の当初予算に反映させるため、計画値は記載なし							

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	35 補助金の見直し				重要度	A			
番号・取組事業名	35001	補助金の見直し	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	40100	財政部 財政課	責任者	鈴木 輝夫	担当者	財政担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	完了 (事業終了)	・計画に基づき、翌年度予算(平成30年度)に反映した							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	削減目標の提示			○					
2	平成29年度作成した見直し計画の進捗を確認				○	○			
3	計画及び進捗確認の結果を、平成30年度予算に反映					○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	平成28年度に各課から提出された「補助金見直し計画」に基づき、9月にヒアリングを実施した。今後は、平成30年度予算編成にその結果を反映させる予定である。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	恒常的な補助金の当初予算額(一般財源ベース)	計画値	単位 千円	1,483,915	実績値	単位 千円	1,156,815
		達成状況【成果】	達成	コメント	【平成29年度予算への反映】 平成28年度に各課で作成した「補助金見直し計画(平成30年度まで)」の中で、見直しの方向性を「廃止」「見直しして継続」とした補助金について、先行できるものを平成29年度予算に反映させた。(実績値に含む)				
		進捗状況【活動】	完了 (事業終了)		【平成30年度予算への反映】 平成29年度のヒアリング結果や、担当課による見直しの結果を平成30年度予算に反映させた。				
		計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント				
		計画値							
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	平成29年度において事業終了となるが、補助金の適正化には、今後とも継続して取り組まれない。					
	方向性	完了 (目的達成)							

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	35 補助金の見直し					重要度	B	
番号・取組事業名	35002	沼南まつり補助金の見直し		作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31	
担当部署	057100	市民生活部 沼南支所総務課		責任者	西村 光彦	担当者	総務担当	
取組年度	H28	～	H29					
効果	歳出削減							
最終目標	<p>地域環境の変化に伴い、沼南まつりのあり方も変革の時期を迎えている。 平成28年度からは「沼南まつり実行委員会」において、今後の沼南まつりのあり方の検討に着手することが想定される。 その内容、規模を勘案し、適正な支援を行う必要がある。 補助金は3年ごとに見直ししており、検討内容に併せた見直しを行う。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	地域環境の変更に伴うまつりのあり方を検討した。沼南支所総務課のまつり参加人数を2名から4名に増加した。						
平成29年度	完了 (事業終了)	補助金額について見直しを検討したが、会場の変更等から規模も拡大しており、安定的に沼南まつりを運営していくために金額については現状維持との結論に至った。						
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
成果指標	指標名	沼南支所総務課のまつり参加人数					単位	人
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		3	3				0
	変更計画値	2						0
実績値		4	2				0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)		沼南まつりに積極的に参加し、人的な支援も行う。	沼南まつりに積極的に参加し、人的な支援も行う。					

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	35 補助金の見直し				重要度	B		
番号・取組事業名	35002	沼南まつり補助金の見直し	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	057100	市民生活部 沼南支所総務課	責任者	西村 光彦	担当者	総務担当		
	区分	取組内容・目標						
平成29年度	完了 (事業終了)	補助金額について見直しを検討したが、会場の変更等から規模も拡大しており、安定的に沼南まつりを運営していくために金額については現状維持との結論に至った。						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	前年度の検討を受けて、補助金額の増減を検討する。			○	○	○	○	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	平成24年2月に策定された「補助金の適正化ガイドライン」の主旨に沿って、補助金見直しの検討を継続する。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	沼南支所総務課のまつり参加人数	計画値	単位 3	人	実績値	単位 2	人
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	平成28年度から会場を沼南体育館からアリオ柏に変更したことに伴い、事業費について削減できたものもある一方で、会場設営費等は増加しており、結果として事業費に大きな変動はない。しかし、まつりへの参加団体及び来場者は格段に増加しており、より賑わいのある沼南まつりを開催することができた。補助金額について検討を行った結果、事業規模が拡大しており、補助金交付の効果は高まっている。そのため、今後も沼南まつりを安定的に運営するためには、現在の補助金額は必要と判断した。				
	進捗状況【活動】	完了 (事業終了)		市職員の参加人数については、平成28年度は会場変更後初の開催であったことから、不測の事態に備え多めの人数を配置していた。平成29年度は計画値を下回ったものの、前年度の運営状況を考慮した結果であり、適切な参加人数だったと考える。 アクションプランとしては終了するが、今後も人的支援として実行委員会と協議しながら市職員が参加し、まつりの活性化に取組んでいく。また、補助金の適正化ガイドラインに従い、状況の変化に応じて随時検討を行っていく。				
	計画変更 (次年度以後)	取組内容	無	コメント				
計画値		無						
評価	評価者	大塚 旭	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	28年度に続き、29年度もアリオ柏での開催を実現させ、多くの方が訪れたことで、活気のあるまつりとなったことを考慮し、総合評価を「B」とした。また、成果指標である、「総務課のまつり参加人数」については、今後も開催内容、規模等を踏まえ、沼南まつり実行委員会との調整を経た上で、適切な参加職員数の確保が必要と考える。				
	方向性	完了 (目的未達成)						

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	41 指定管理者制度や民間委託の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	41013	ICTアドバイザー業務委託	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	20800	企画部 情報政策課	責任者	沖本 雅樹	担当者	白川 英征		
取組年度	H28	～	H29					
効果	歳出削減	その他改善						
最終目標	電算予算要求時において、担当部署からの予算要求額に関して精査を行い、事業費用の適正化を図るとともに、情報セキュリティ全般に対する幅広い助言を受けることで情報セキュリティの一層の向上を図る。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	遅れている	自治体セキュリティ強化対策事業による庁内情報ネットワーク整備状況や庁内情報ネットワークで発生したセキュリティ事故の内容を踏まえ、次年度において早期に業務を開始できるよう計画を作成した。						
平成29年度	完了 (事業終了)	電算予算の査定及び査定マニュアルの作成支援を受け、ICTコストの適正化を図った。また、情報セキュリティに関する啓発資料の作成や研修を実施する等、情報セキュリティの向上を図った。						
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
成果指標	指標名	予算査定金額の適正化					単位	千円
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		5,000	5,000				10,000
	実績値	10,000	0	19,429				19,429
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額		5,000	5,000			10,000
		変更計画額	4,671					0
		実績額		0	19,429			19,429
	計	当初計画額		5,000	5,000			10,000
		変更計画額	4,671	0	0			0
		実績額		0	19,429			19,429
見込まれる その他効果 (金額以外)	ICT発注時の仕様書の作成方法や査定時のマニュアルを策定することで、今後恒久的に発注の適正化(必要な項目の精査)が期待できる。	電算予算要求額を精査し、適正な査定額を決定することで、発注時における知識を取得することができる。	電算予算要求額を精査し、適正な査定額を決定することで、発注時における知識を取得することができる。					

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	41 指定管理者制度や民間委託の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	41013	ICTアドバイザー業務委託	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31	
担当部署	20800	企画部 情報政策課	責任者	沖本 雅樹	担当者	白川 英征	
	区分	取組内容・目標					
平成29年度	完了 (事業終了)	電算予算の査定及び査定マニュアルの作成支援を受け、ICTコストの適正化を図った。また、情報セキュリティに関する啓発資料の作成や研修を実施する等、情報セキュリティの向上を図った。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	平成30年度電算予算査定支援					○	
2	システム導入支援				○	○	
3	情報セキュリティ監査支援					○	○
4	情報政策課査定マニュアル策定内容の見直し					○	○
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	8月にプロポーザル方式により業者を選定し、9月に契約を締結した。 現在、2週間に1回を目途に協議を行い、システムの導入支援及び年間のスケジュール調整を行っている。 今後は、各所属からの電算計画の提出後に電算予算査定支援を受けるとともに、情報セキュリティ監査支援及び査定マニュアルの作成支援を予定している。		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	予算査定金額の適正化	計画値	単位 千円 5,000	実績値	単位 千円 19,429
		達成状況【成果】	達成	コメント	情報セキュリティ監査やセキュリティ研修の実施、本市の状況を踏まえた啓発資料等、情報セキュリティの向上を図った。また、システム調達の資料作成の支援や電算予算の査定支援、査定マニュアル作成を行い、ICTコストの適正化を図った。		
		進捗状況【活動】	完了 (事業終了)		これまでの取組みにより一定の効果が得られたため、アクションプランは平成29年度で終了とする。なお、査定マニュアルの作成により、次年度以降についても継続してICTコストの適正化を図っていく。次年度は、情報化計画策定やシステム導入の支援について委託予定である。		
		計画変更 (次年度以後)	取組内容	無	コメント		
計画値	無						
評価	評価者	飯田 晃一	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	システム調達の部分では、仕様書の精査に専門知識を活用したことで、オプションの削減が図られ、調達コストの削減に大きく効果がでており、今後はこの経験を活かし、詳細な仕様書の作成やベンダー等が示す見積もりを精査するスキルの向上に繋げていく。			
	方向性	完了 (目的達成)					

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	B	
番号・取組事業名	81006	LED照明導入促進事業(分庁舎等)			作成日	H29.4.1	更新日 H30.3.31	
担当部署	080500	環境部 環境政策課			責任者	原田 明廣	担当者 環境政策担当	
取組年度	H29	～	H29					
効果	歳出削減	その他改善						
最終目標	柏市公共施設等低炭素化指針に基づき、市が所有する公共施設の照明についてLED化を進めるもの。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度								
平成29年度	完了 (事業終了)	平成28年度に実施した分庁舎外22施設のLED化により、公共施設におけるCO2排出量を削減した。						
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
成果指標	指標名	LED化(電気使用料の削減)によるCO2排出量の削減					単位	t-CO2
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値			233	233	233	233	932
	変更計画値	0						
効果額	実績値			80				
	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
歳出削減	当初計画額	70,427		7,993	7,993	7,993	7,993	31,972
	変更計画額							0
	実績額			957				957
計	当初計画額			7,993	7,993	7,993	7,993	31,972
	変更計画額			0	0	0	0	0
	実績額			957	0	0	0	957
見込まれる その他効果 (金額以外)	電気使用料の削減に伴うCO2排出量の削減							

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	B			
番号・取組事業名	81006	LED照明導入促進事業(分庁舎等)	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	080500	環境部 環境政策課	責任者	原田 明廣	担当者	環境政策担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	完了 (事業終了)	平成28年度に実施した分庁舎外22施設のLED化により、公共施設におけるCO2排出量を削減した。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	省エネ行動の継続			○	○	○	○		
2	LED化によるCO2排出量削減効果の計算・確認				○		○		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	平成28年度に分庁舎外22施設のLED化は完了しているため、平成29年度から電気使用量の削減に伴うCO2排出量の削減効果が得られる。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	LED化(電気使用料の削減)によるCO2排出量の削減	計画値	単位	t-CO2	実績値	単位	t-CO2
		達成状況【成果】	未達成	コメント		233		80	
		進捗状況【活動】	完了 (事業終了)						
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
		計画値	無						
評価	評価者	國井 潔	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	リース方式による公共施設のLED化を進め、合計35,705本をLED化した。これにより、電力使用量は従前に比べて、5,905,231kwh/年の省エネ効果、233CO2t/年の削減効果と推測したが、エアコン使用など他のエネルギー利用の兼ね合いで、庁内の電力使用総量は微減にとどまった。このため、原因の分析や領内省エネの徹底、LED化未完の施設のLED化を進めたい。					
	方向性	完了 (目的未達成)							